

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2007
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.24, (2007.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20070000-0364

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

小泉 仰 慶應義塾大学名誉教授

前坊 洋 東北公益文科大学教授

寺崎 修 慶應義塾大学教授

都倉 武之 慶應義塾福沢研究センター専任講師

西沢 直子 慶應義塾福沢研究センター准教授

小川原 正道 武蔵野学院大学大学院准教授

竹村 英二 国士館大学教授

渡辺 浩 東京大学教授

菅原 和子 中央大学社会科学研究所
客員研究員

岩谷 十郎 慶應義塾大学教授

小野 修三 慶應義塾大学教授

編集後記

二〇〇八年は、慶應義塾創立百五十年にあたる。と同時に福沢研究センター開設二十五年にもあたる。本誌は、一九八五年に創刊されて以来福沢諭吉を中心とする近代日本研究の発表の場として、内外の研究者の研究成果を掲載してきたが、二〇〇八年中に刊行される本巻並びに次巻では、「慶應義塾創立百五十年・慶應義塾福沢研究センター開設二十五年」を特集することにした。福沢が書簡のなかで、慶應義塾が「百年の後にも伝え候えばこの上もなき仕合なり」と述べていたように、慶應義塾が学問の府として百年存続することは、彼の最大の夢だったが、その夢は今や義塾全体のさらに大きな夢となって創立二百年へ向けて走り出している。福沢研究センターでも現在、『慶應義塾史事典』の今秋の刊行をめざし、総力を傾けているが、編纂に際し、本誌掲載の諸研究が大いに活用されていることはいうまでもない。

今回の一般投稿論文は、査読の結果、二編の掲載が認められた。応募者は六名にのぼったが、残念ながら厳しい結果に終わった。オリジナリティに富む論文が、多数投稿されることを期待したい。

なお、次巻（第二十五巻）は、例年の刊行時期よりも四か月ほど繰り上げ、本年十一月に刊行する予定である。